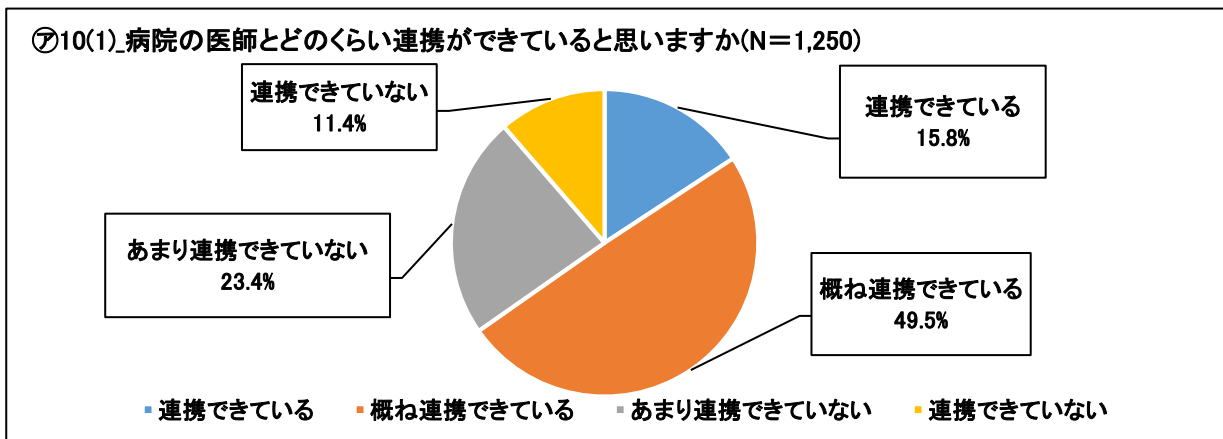


日常の療養支援に関する調査票

ア 病院の医師との連携

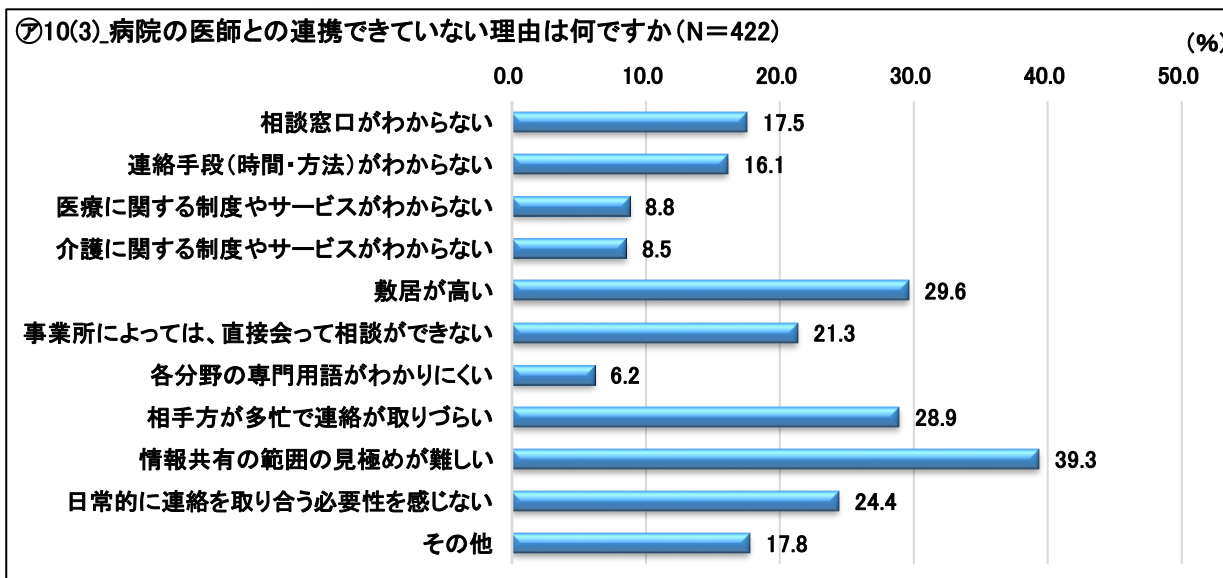
10-(1) ア 病院の医師との連携について、どのくらい連携ができていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10-(2) 10-(1)で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・ 文書、電話、メール等で連絡を取っている (歯科・薬局・居宅)
- ・ 退院前カンファレンスや病院主催の研修会等に積極的に参加し連携している (診療所・薬局)
- ・ 毎月の報告書、指示受け等、あじさいネット、電話、メール等を使い連携している (訪問看護)
- ・ 地域連携室を通し連携している (訪問リハ・包括・居宅・小規模多機能)
- ・ ケアマネジャーを通し連携している (訪問介護・通所介護・定期巡回)
- ・ 嘱託医や協力病院とは定期的な往診もあり連携できている (特養・GH)

10-(3) ア 病院の医師との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

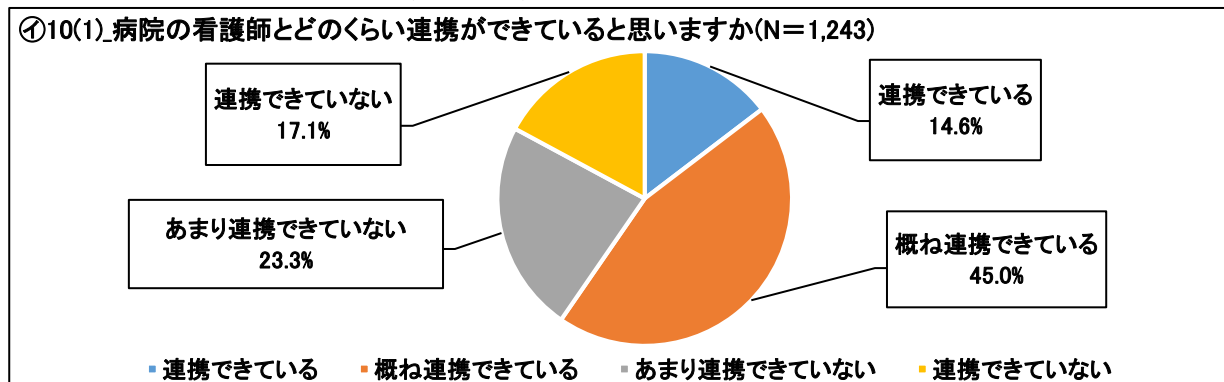


10-(4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- ・ 必要性を感じず、どう連携を取ればよいかわからない (歯科)
- ・ 大きな病院はいつ・どこに連絡をしてよいかわからない (歯科・薬局・訪問看護)
- ・ 敷居が高く多忙なので連絡するのが申し訳ないと感じる (居宅)
- ・ 介護側から連絡を行うことは医療知識がないことから負担と感じる (小規模多機能・通所介護)
- ・ 医師と情報交換を行う場がない (訪問介護)
- ・ カンファレンス等の会議以外ではうまく情報共有できていない (訪問リハ)

①病院の看護師との連携

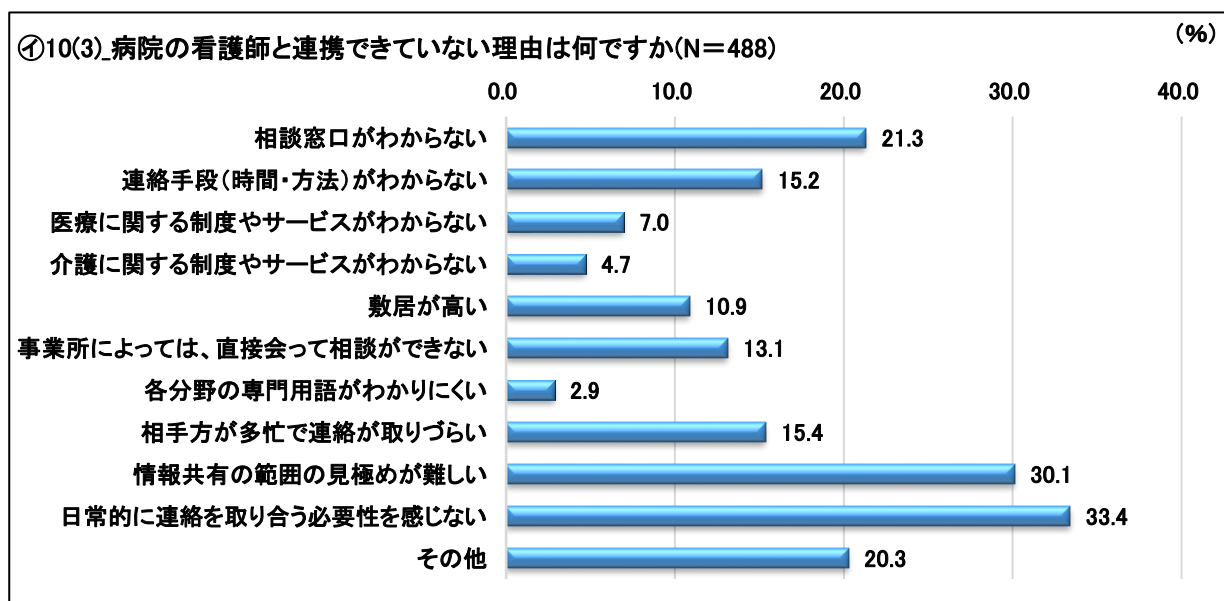
10- (1) ①病院の看護師との連携について、どのくらい連携ができていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・連携室の看護師を通し随時連絡や情報共有を行っている（診療所・居宅）
- ・情報提供書や電話で必要な情報はやりとりしている（歯科・薬局）
- ・退院前カンファレンスやサマリーでやりとりしている（訪問看護・小規模多機能）
- ・連携室の看護師とは連携がとりやすく、主治医との仲介役になってくれるので助かる（居宅）
- ・入退院時に病状やケアの方法について情報交換し、必要時も電話相談等できている（GH・特養）

10- (3) ①病院の看護師との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

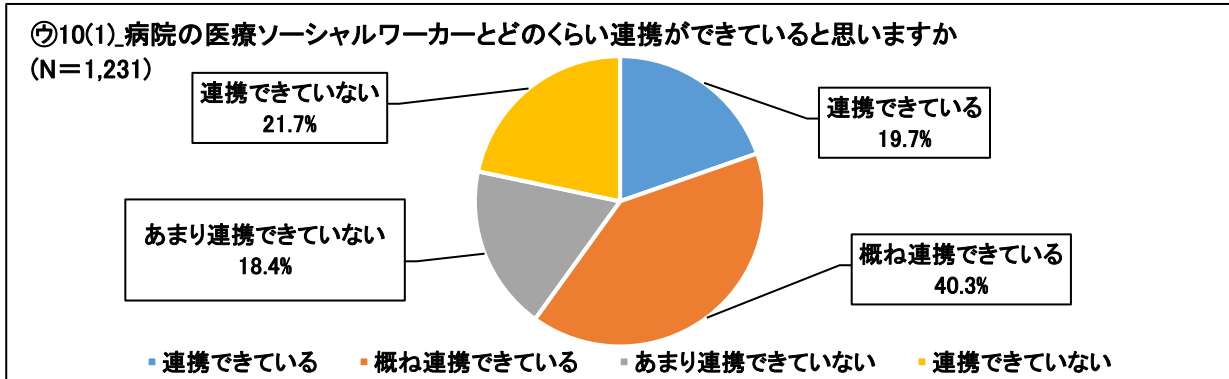


10- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- ・医師同士又は訪問看護師と連絡をとっている（診療所）
- ・疑義照会以外どのような場合に連携して良いかわからない（薬局）
- ・病棟看護師との連携が難しい。在宅でのイメージが共有できていないと感じる。（訪問看護）
- ・多忙そうで敷居が高く情報をもらいにくい。看護師よりソーシャルワーカーとの連携が多い。（居宅）
- ・ケアマネジャーを介して情報共有している（定期巡回・訪問介護・通所介護）
- ・医師同士でやりとりしているので連携する機会がない（老健・ケアハウス・有料老人ホーム）

㊦病院の医療ソーシャルワーカーとの連携

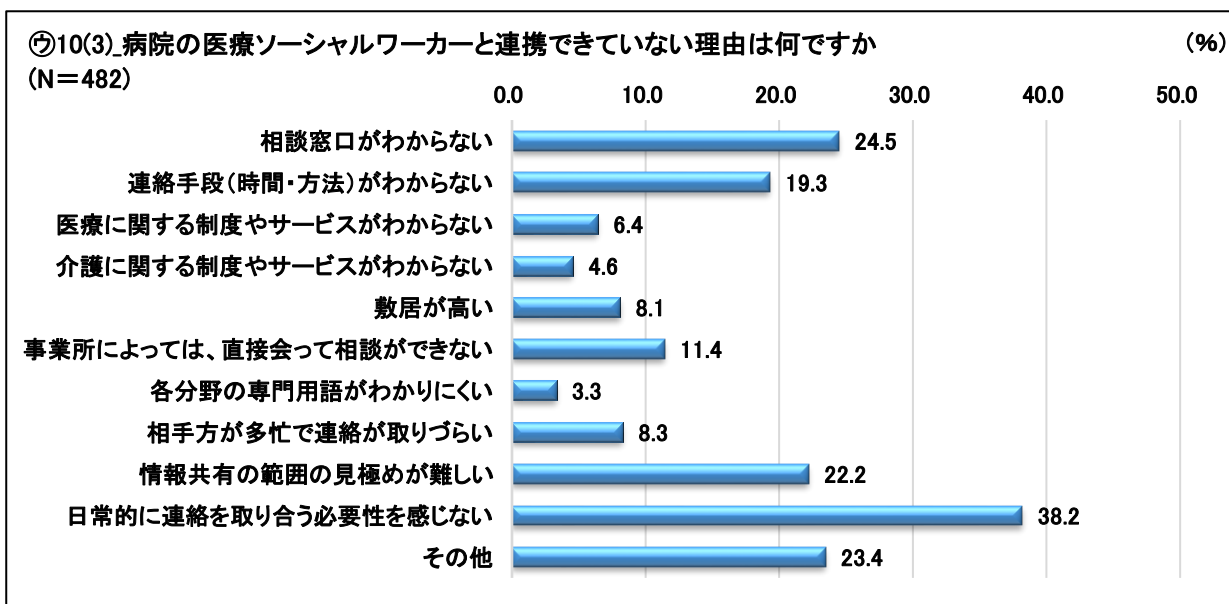
10- (1) ㊦病院の医療ソーシャルワーカーとの連携について、どのくらい連携ができていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・連携室の窓口として退院後の在宅の視点を持ち相談・支援してくれる（診療所・薬局・訪問看護・包括・居宅・福祉用具）
- ・診療情報や電話等でやりとりしている（歯科）
- ・入院時情報連携シートを活用し連携している（居宅）
- ・入退院時、施設受入時の調整・情報交換を行っている（短期入所・特養・有料老人ホーム・GH）
- ・医師や病棟との橋渡しをしてくれている（有料老人ホーム）

10- (3) ㊦病院の医療ソーシャルワーカーとの連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

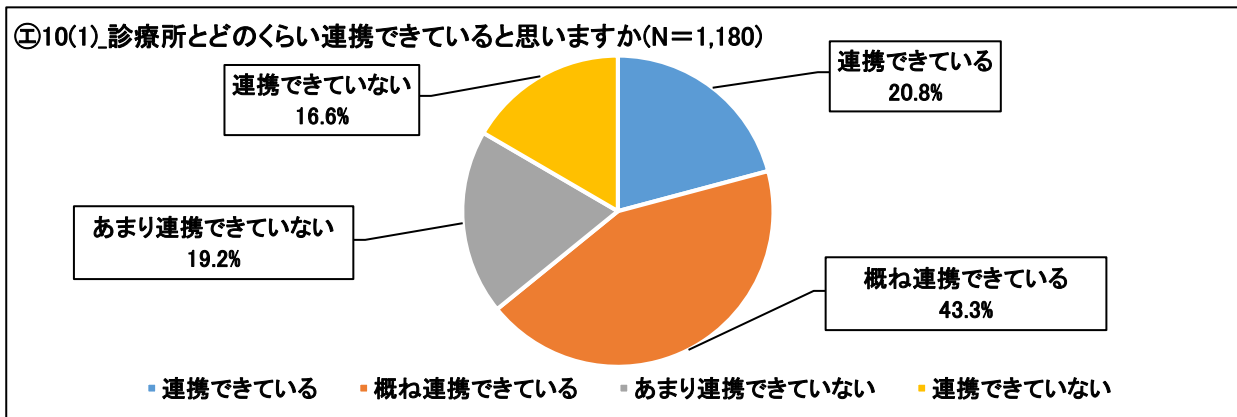


10- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- ・必要性を感じない（診療所・歯科・薬局）
- ・具体的な業務内容を知らず、連携の仕方がわからない。（薬局）
- ・ケアマネジャーとの連携が主である（訪問看護・訪問介護・通所介護）

⑤診療所との連携

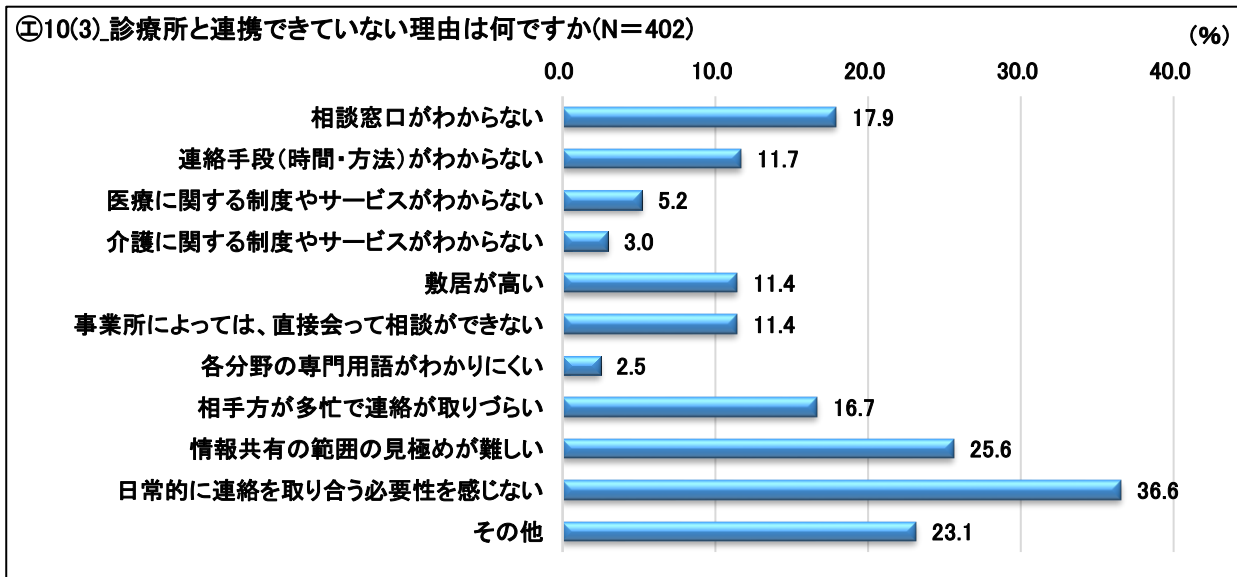
10- (1) ⑤診療所との連携について、どのくらい連携ができていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・連携室を通して連携はとれている（病院）
- ・診療情報提供書や必要時電話等で情報共有している（歯科・老健）
- ・疑義照会や在宅訪問時の状況等、よく連絡を取り合っている（薬局）
- ・大きな病院よりは敷居が低く顔の見える関係が作りやすい（薬局・訪問看護・定期巡回）
- ・嘱託医、協力医の定期的な往診や急変時の連絡体制もあり連携とれている（有料老人ホーム・GH・特養・サ高住）

10- (3) ⑤診療所との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

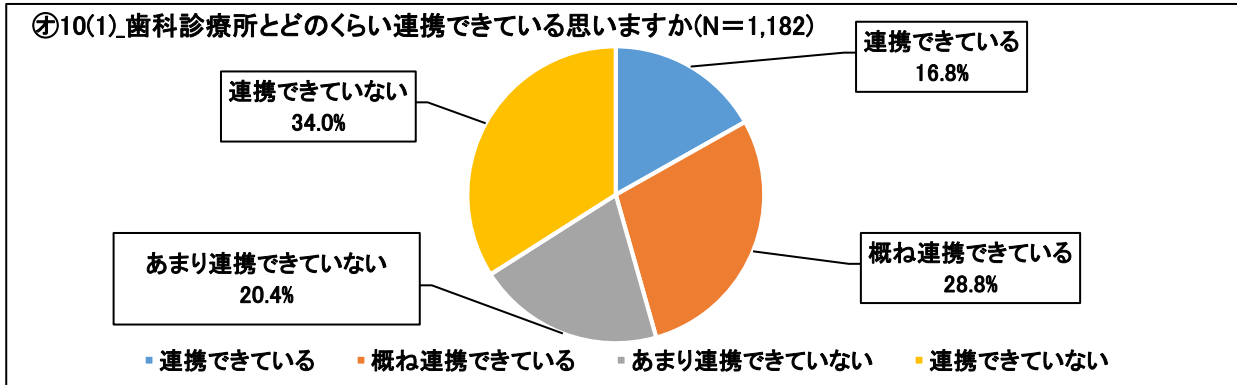


10- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- ・相談窓口や相談して良い時間帯がわからない（居宅・小規模・通所リハ）
- ・介護分野について十分理解が得られない場合がある（包括）
- ・会議や研修で会う機会が殆どない（包括）
- ・嘱託医、協力病院との連携が主である（短期入所・特養・GH）

④ 歯科診療所との連携

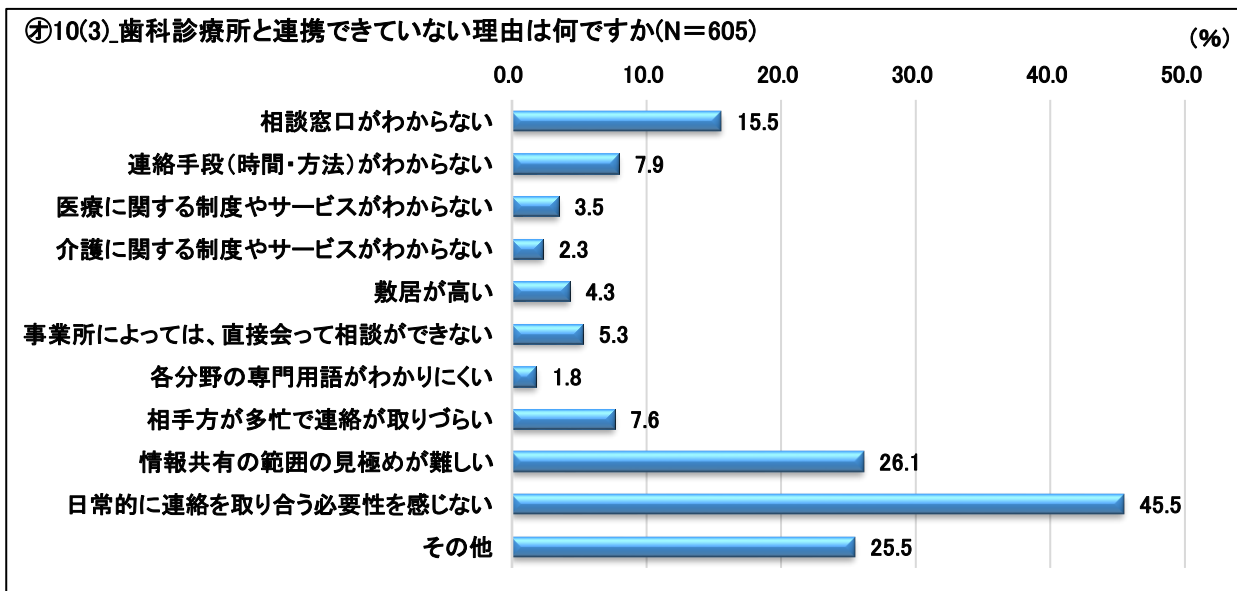
10- (1) ④ 歯科診療所との連携について、どのくらい連携ができていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・ 歯科医師会を通じて訪問診療の依頼をしている (病院)
- ・ 診療情報提供書にて情報共有している (診療所)
- ・ 疑義照会時に連絡をしている (薬局)
- ・ 歯科医師の訪問診療時に合わせて訪問し情報共有するよう努めている (訪問看護)
- ・ 地域ケア会議や他会議を通し連携している (包括)
- ・ 直接顔を合わせる機会をつくり、居宅療養管理指導の相談・依頼をするなど連携している (居宅)
- ・ 協力歯科医療機関があり定期的な訪問・相談ができている (定期巡回・小規模多機能・短期入所・特養・老健・有料老人ホーム・GH)

10- (3) ④ 歯科診療所との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

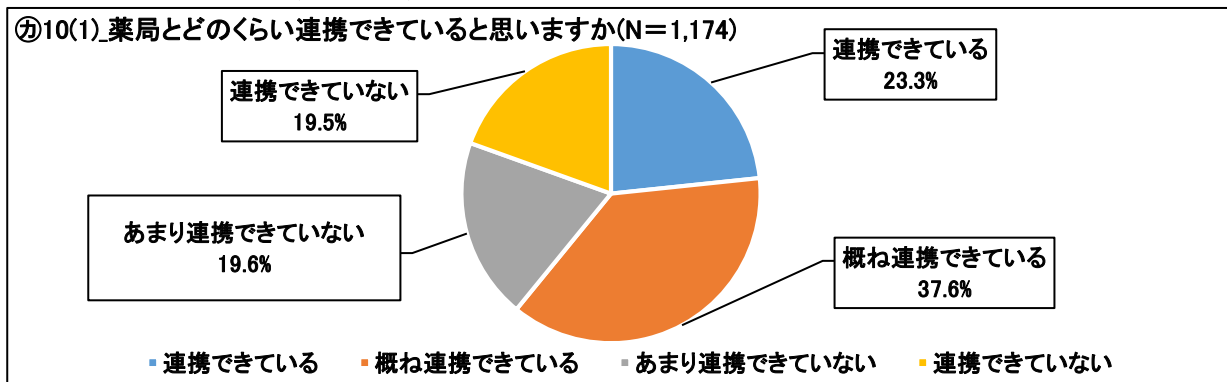


10- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- ・ 治療時には依頼できているが、歯科予防の面では常日頃からの連携ができていない (居宅)
- ・ 歯科に課題があっても後回しになってしまう (病院)
- ・ 必要性を感じない (診療所・薬局)
- ・ 直接連携するケースは少ない (訪問看護・居宅)

㊦薬局との連携

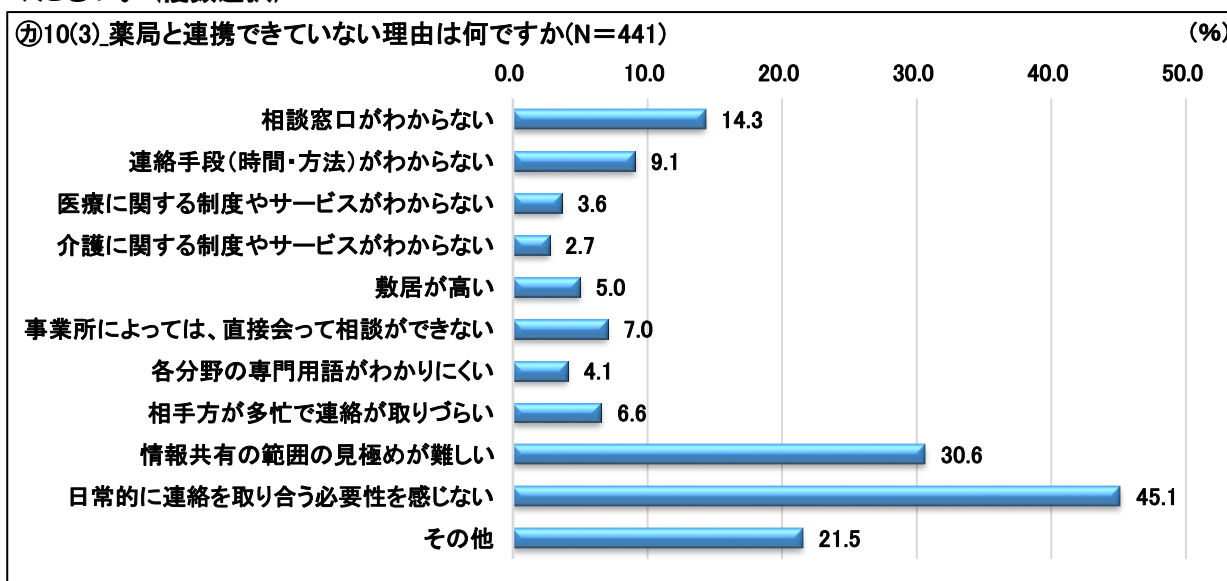
10- (1) ㊦薬局との連携について、どのくらい連携ができていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・会議等に積極的に参加いただき、ケースに対する気づき等も連絡してくれている（病院）
- ・病状に応じて一包化の相談や服薬管理等細目に連絡をとりあい調整している（診療所・訪問看護）
- ・ケア会議他会議等を通し相談しやすくなった（包括・居宅）
- ・在宅医療に力をいれている薬局が増えたため相談しやすい状況（居宅）
- ・施設での研修を開催し服薬方法や効能等の講義を受けている（特養・有料老人ホーム）

10- (3) 薬局との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

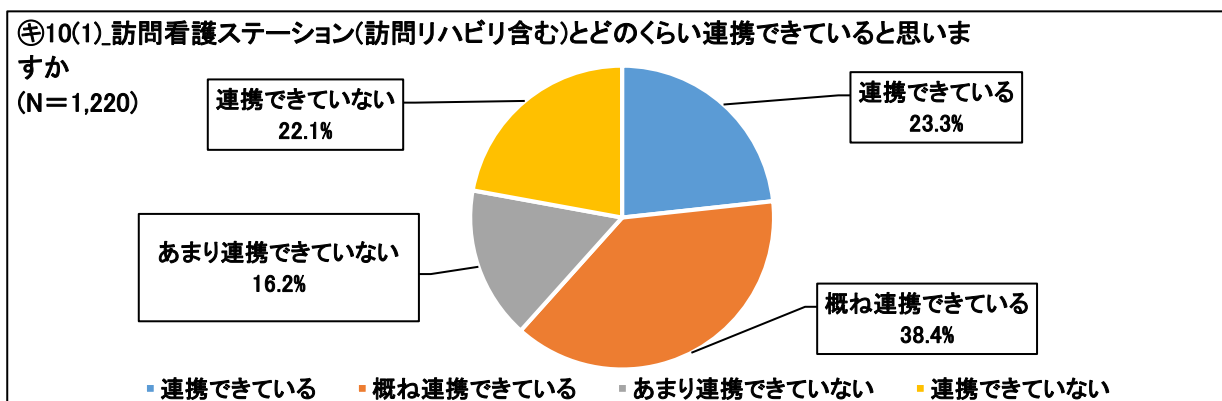


10- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- ・ケアマネジャーを介しての連携が主である（病院・訪問介護・通所介護・短期入所）
- ・連携の必要性を感じない（歯科）
- ・薬の確認は直接医師にすることが多い(居宅)

④訪問看護ステーション（訪問リハビリを含む）との連携

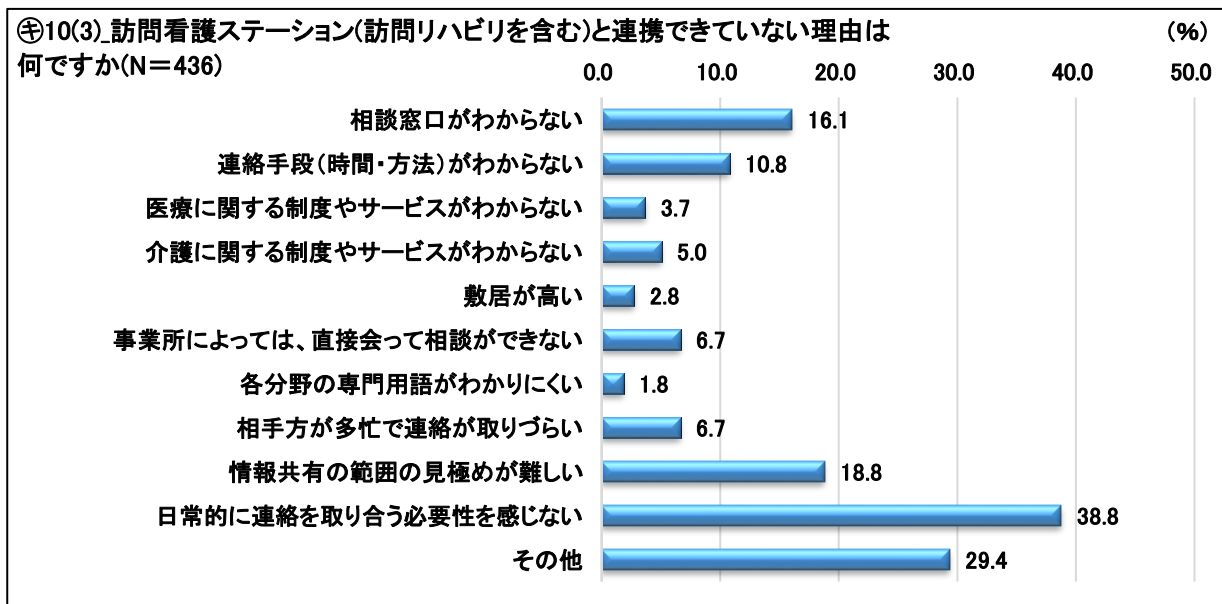
10-（1）④訪問看護ステーション（訪問リハビリを含む）との連携について、どのくらい連携ができていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。（1つ選択）



10-（2） 10-（1）で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・患者の状態に合わせてその都度細目に連絡をとりあっている（診療所・薬局・居宅）
- ・サービス担当者会議、カンファレンスを通し情報共有している（病院・訪問リハ・通所リハ・短期入所）
- ・介護側が苦手な医療面の相談やケアについてのアドバイスをもらっている（居宅・訪問介護・有料老人ホーム）
- ・情報共有ノートを活用し、デイ利用時や送迎時の様子で気になる点は報告・相談している（通所介護）
- ・定期訪問あり、24時間体制で連絡・相談できている（GH）

10-（3）④訪問看護ステーション（訪問リハビリを含む）との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。（複数選択）

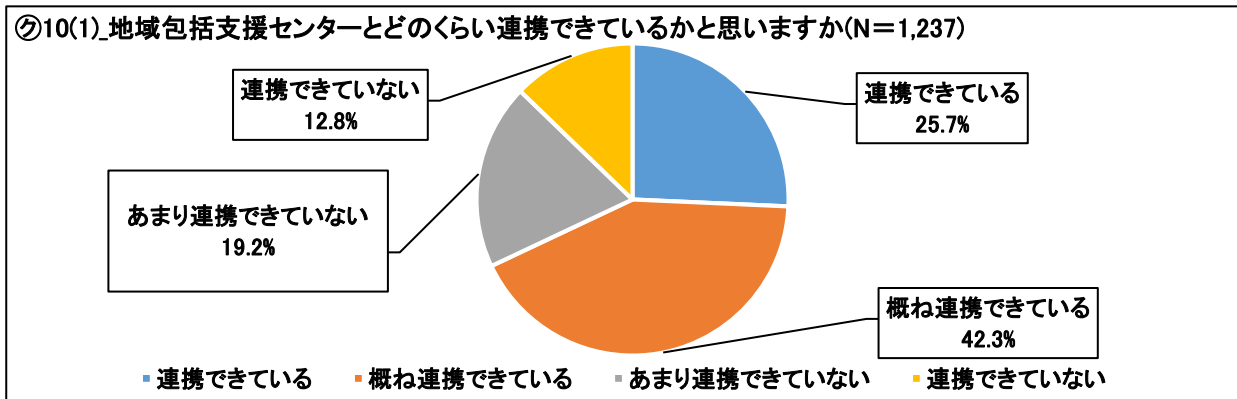


10-（4）連携ができていない具体的な状況を記入してください。

- ・事業所との情報共有の場がない（病院）
- ・お願いできる業務の範囲やどう連携して良いかがわからない（診療所・歯科・薬局）
- ・ケアマネジャーを通してなので直接の連携は少ない（訪問リハ・訪問介護・通所介護・短期入所）
- ・自所属に看護師やセラピストがいるため（通所介護・短期入所・特養・老健・GH・サ高住）

⑦地域包括支援センターとの連携

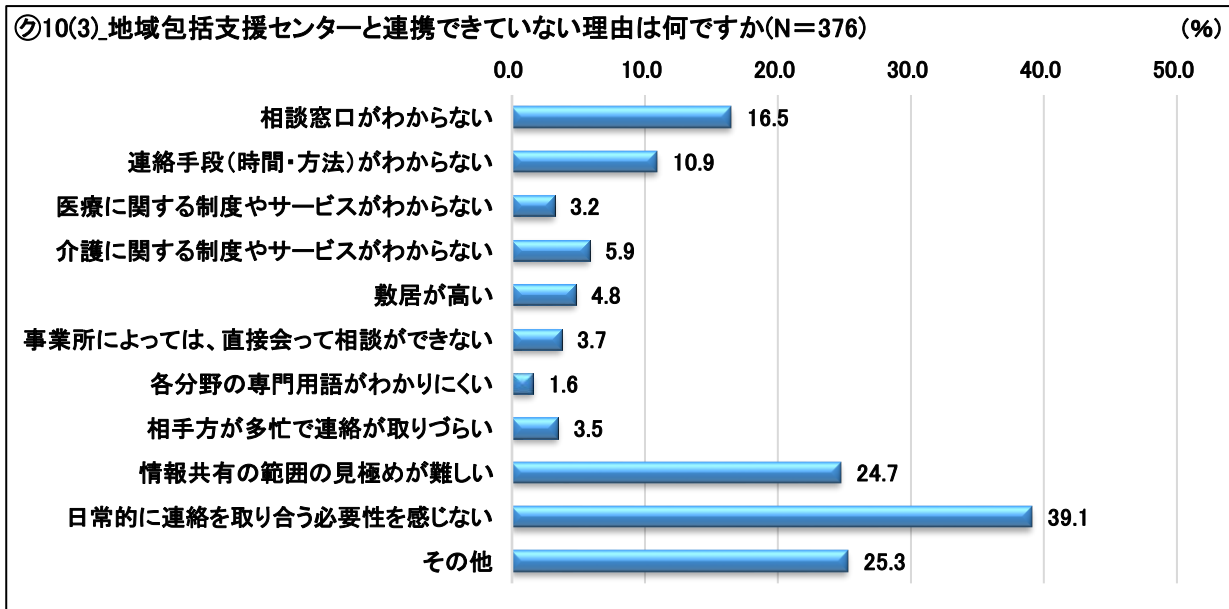
10- (1) ⑦地域包括支援センターとの連携について、どのくらい連携ができていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・入退院時の連絡、地域ケア会議、運営推進会議等で顔を合わせ関係づくりができている（病院・薬局・GH・短期入所・有料老人ホーム・特養）
- ・気になる患者さんがいたら包括につなぐようにしている（薬局）
- ・総合事業やサロン等につなげるため連絡・相談を行っている（訪問リハ・通所リハ）
- ・困難事例の相談や、地域での情報をこまめに提供してくれ、いつでも気軽に相談しやすい環境がある（診療所・訪問看護・訪問介護・居宅）

10- (3) ⑦地域包括支援センターとの連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)



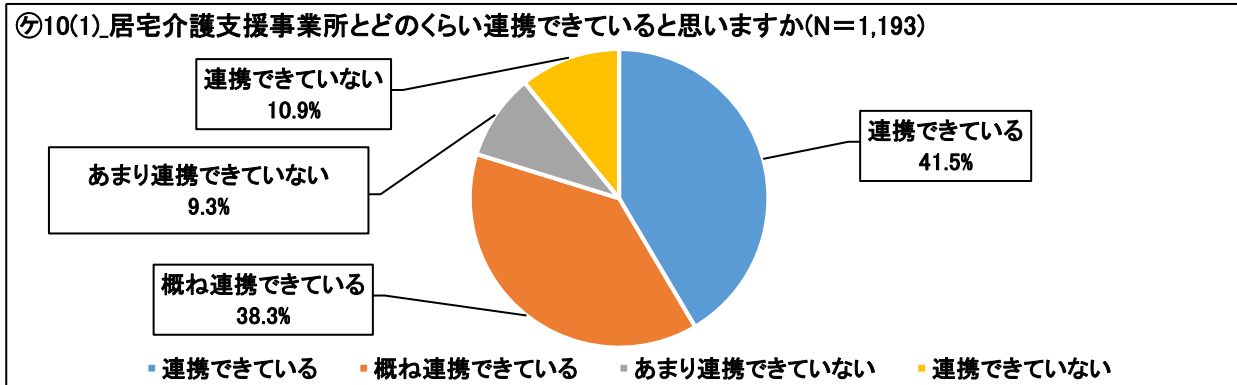
10- (4) 連携できていない具体的な状況を記入ください。

- ・どのようなことで連携して良いかわからない（歯科・有料老人ホーム・通所介護）
- ・人材不足のため自事業所の運営で手一杯（歯科・薬局）
- ・どのような役割を担っているのかわからない（歯科・GH）



④居宅介護支援事業所との連携

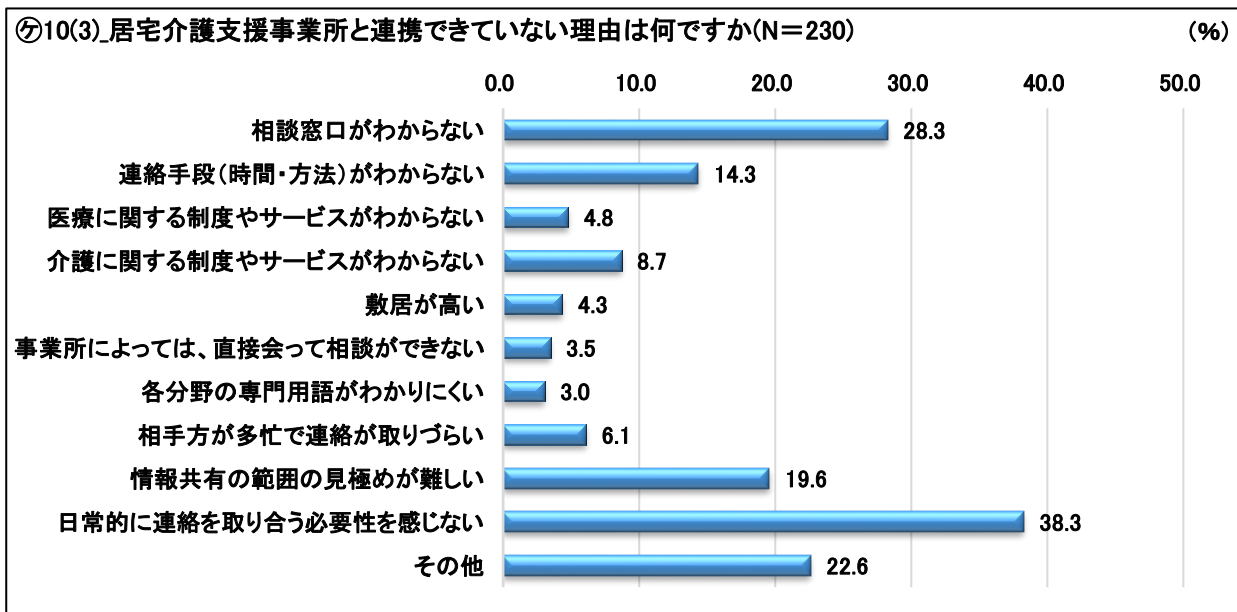
10- (1) ④居宅介護支援事業所との連携について、どのくらい連携ができていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・入退院時にカンファレンス、電話、書面等で情報共有をおこなっている（病院）
- ・地域ケア会議や他研修に参加し顔の見える関係づくりをしている（病院・訪問看護・包括）
- ・ケースの病状変化時等、必要時には随時連絡をとっている（診療所・薬局・訪問看護・包括・訪問介護・定期巡回・小規模多機能・通所介護・通所リハ・短期入所・福祉用具・特養・有料老人ホーム・ケアハウス・サ高住）

10- (3) ④居宅介護支援事業所との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

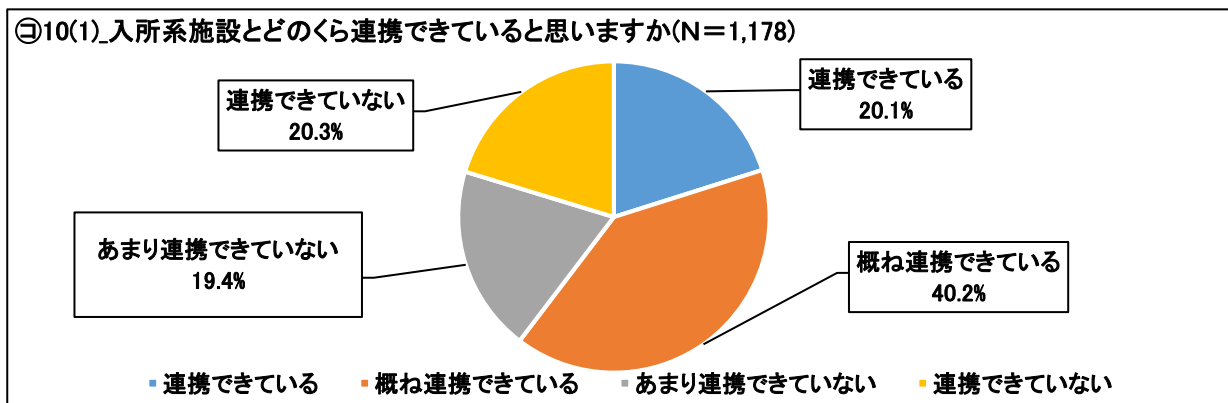


10- (4) 連携できていない具体的な状況を記入ください。

- ・どのようなことで連携して良いかわからない（歯科・薬局）
- ・人材不足で自事業所の運営で手一杯（歯科・薬局）
- ・仕事の内容がわからない(薬局)

③入所系施設との連携

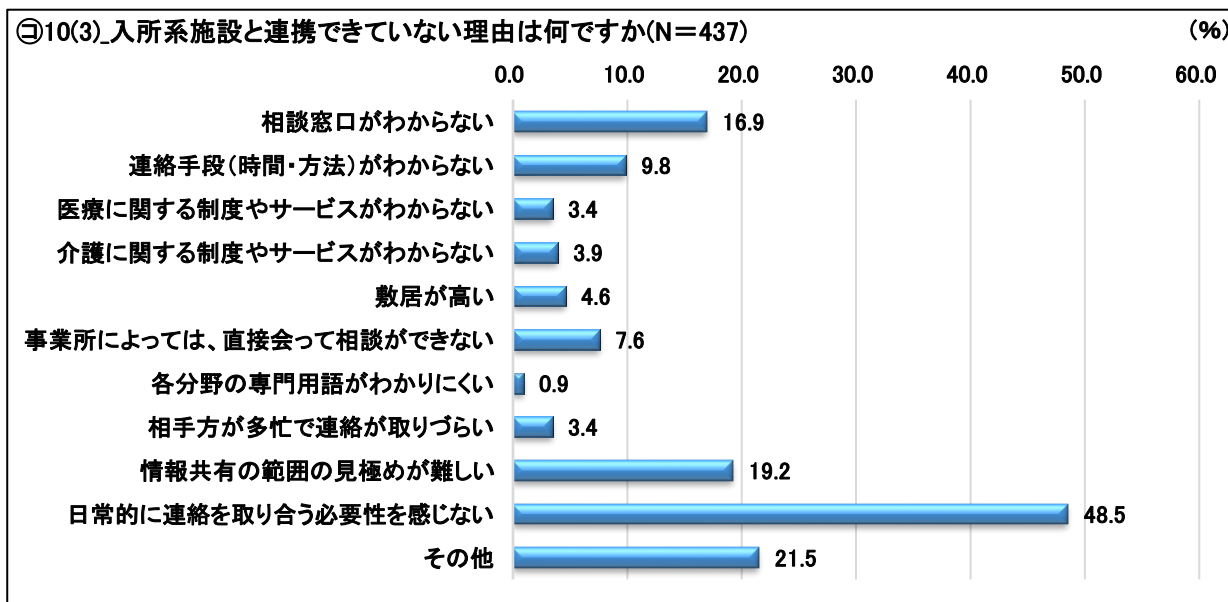
10- (1) ③入所系施設との連携について、どのくらい連携ができていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・ソーシャルワーカーを中心に、入退院時の連絡、連携シートの活用、来院・施設訪問の機会をつくる等し情報共有している（病院）
- ・診療情報提供書、電話等で必要時は連絡している（診療所）
- ・各施設に窓口となる口腔院が配置され定期的な会議や往診、必要時の連絡をしている（歯科）
- ・薬の形状や服薬管理等に関し定期的に情報交換を行っている（薬局）
- ・病状変化や医療機器やケアについて訪問し話や指導をしている（訪問看護）
- ・運営推進会議、地域ケア会議等で地域課題の共有を行っている（包括）
- ・入所、退所時等その都度情報共有しシームレスな生活の継続に心がけている（居宅）

10- (3) ③入所系施設との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)

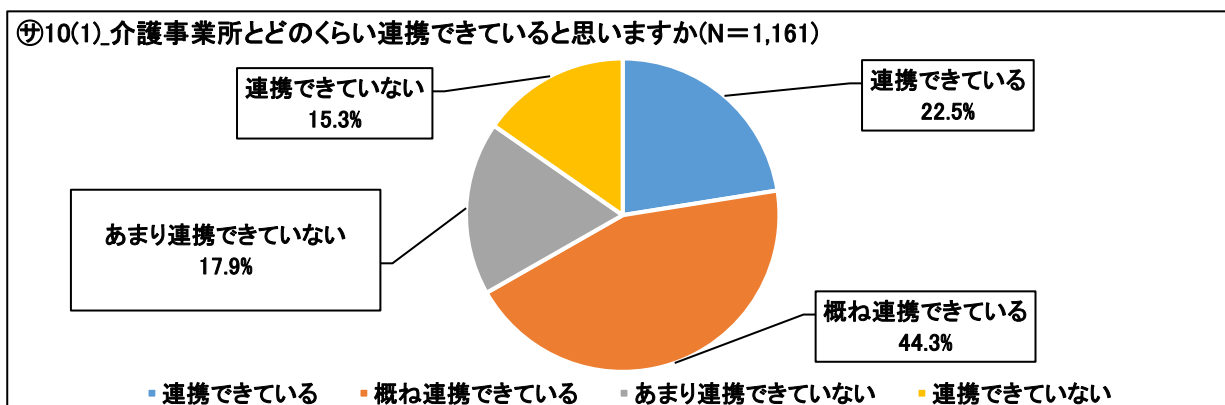


10- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入ください。

- ・嘱託医がいるので関わる事が無い（診療所）
- ・施設の種類、制度がわからない(歯科・薬局)
- ・ケアマネジャーを介してなので直接連携することは少ない（通所介護）

㊦介護事業所との連携

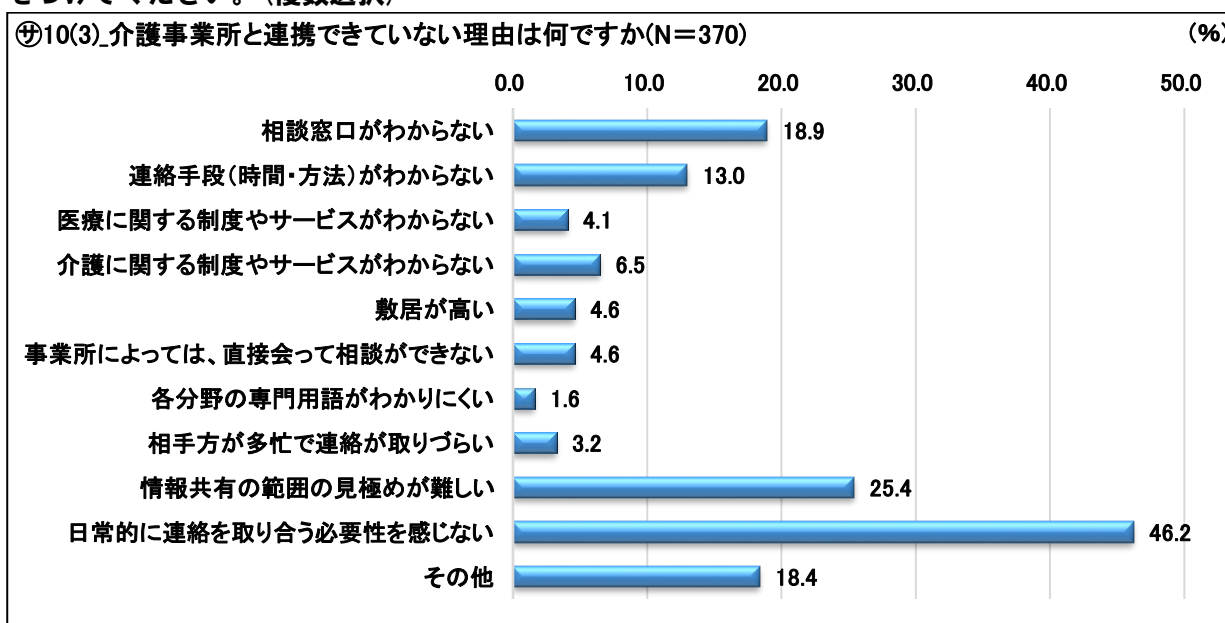
10- (1) ㊦介護事業所との連携について、どのくらい連携ができていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



10- (2) 10- (1) で「①連携できている」、「②概ね連携できている」と答えた方、その理由や連携の具体的な状況を記入してください。

- ・連絡ノートを活用し情報交換している(訪問看護)
- ・地域ケア会議やケースを通し随時連絡をとっている(包括)
- ・事業利用中の様子や状態変化等細目に連絡を取っている(居宅・有料老人ホーム・サ高住)

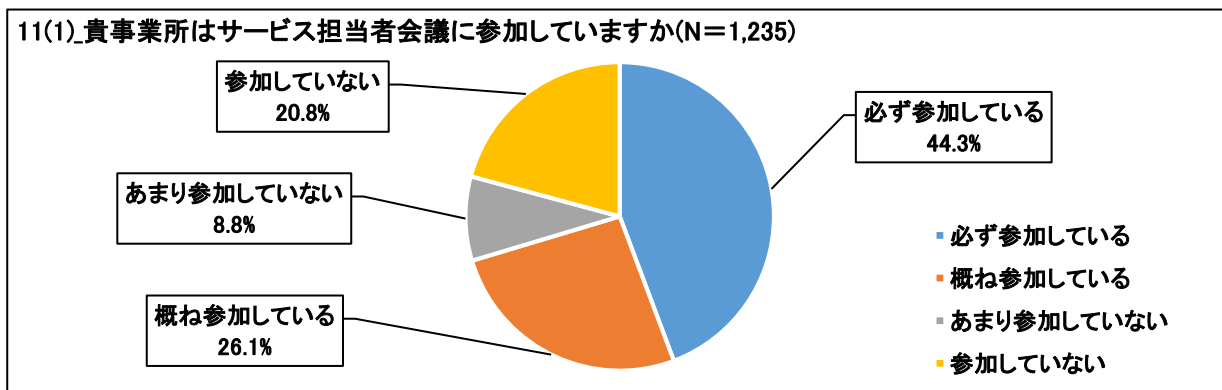
10- (3) ㊦介護事業所との連携について、連携できていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)



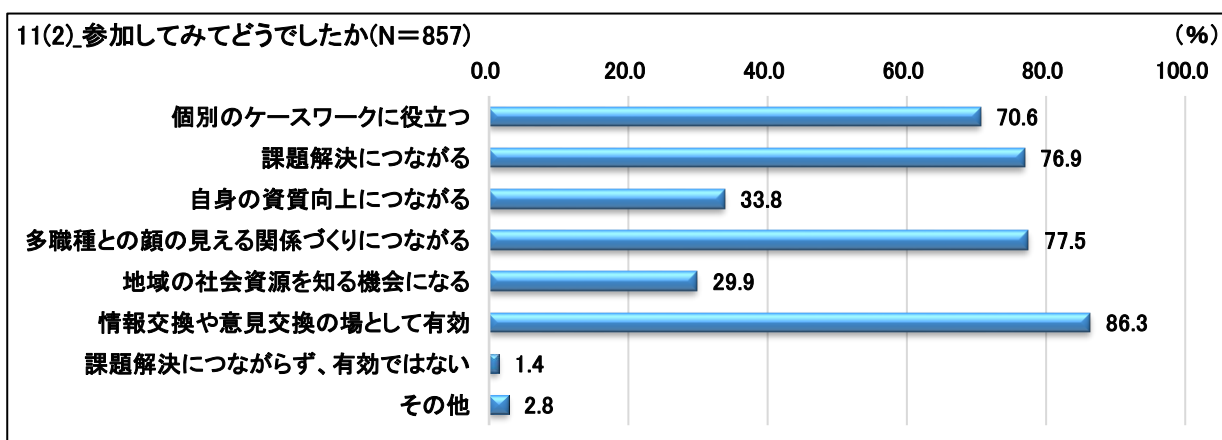
10- (4) 連携ができていない具体的な状況を記入ください。

- ・ケアマネジャーを通して情報共有している(病院・診療所・歯科・薬局・訪問看護・ケアハウス)
- ・関わる機会が少ない(特養)

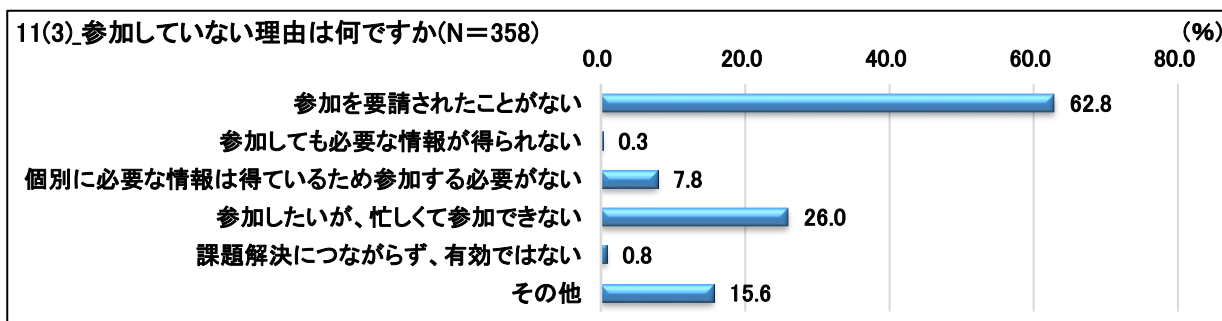
11- (1) 貴事業所は、サービス担当者会議に参加（文書による意見照会や意見交換を含む）していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。（1つ選択）



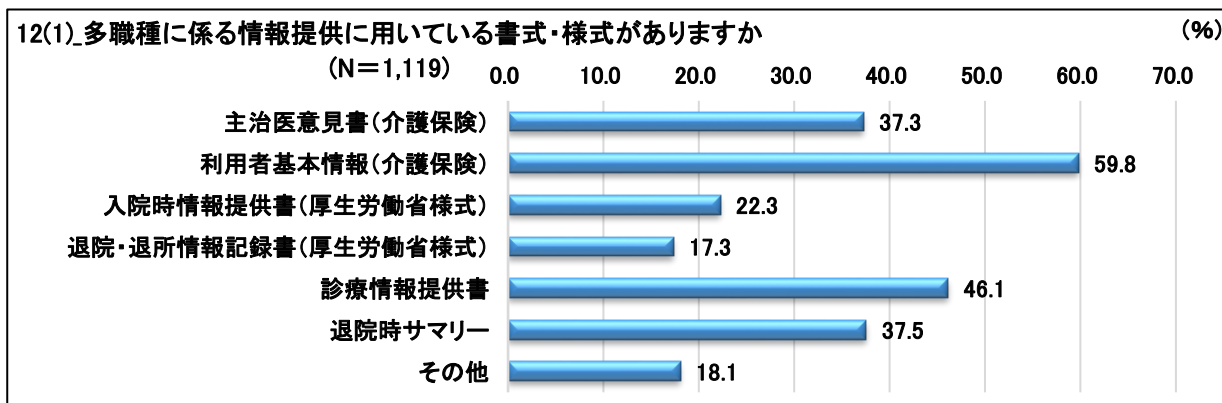
11- (2) 11- (1) で「①必ず参加している」、「②概ね参加している」と答えた方、参加してみてどうでしたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。（複数選択）



11- (3) 11- (1) で「③あまり参加していない」、「④参加していない」と答えた方、参加していない理由について、あてはまるもの全てに○をつけてください。（複数選択）



12- (1) 貴事業所には、多職種連携に係る情報提供に用いている書式・様式がありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。（複数選択）



12-(2) 貴事業所独自で使用している書式・様式で、他事業所と共通利用しているものがあれば具体的に記入してください。

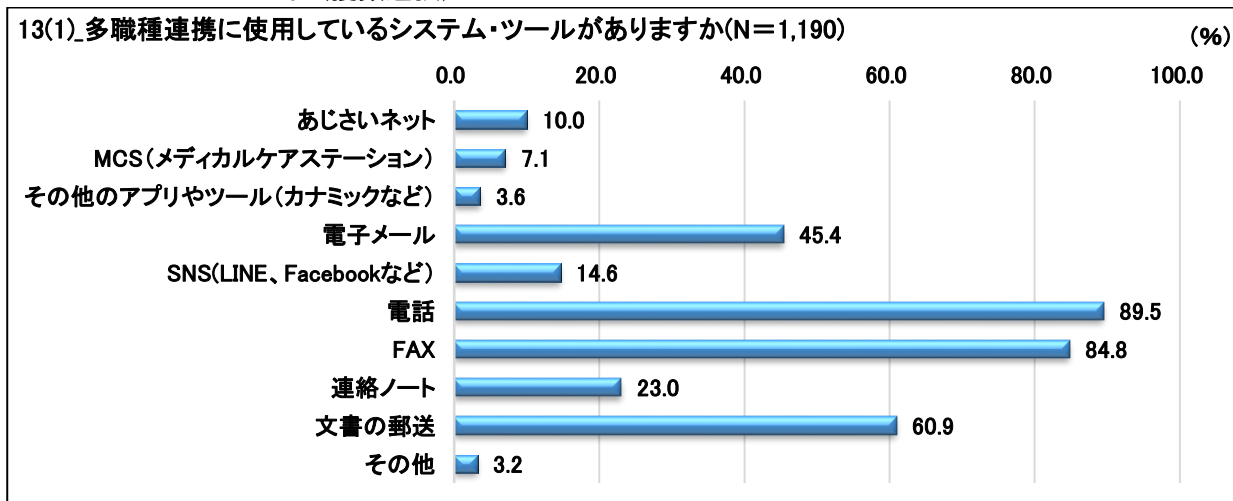
書式・様式

- ・(共通)入院相談シート
- ・看護介護連携シート(くすのき塾作成)
- ・様々な様式を取り入れ独自様式を作成

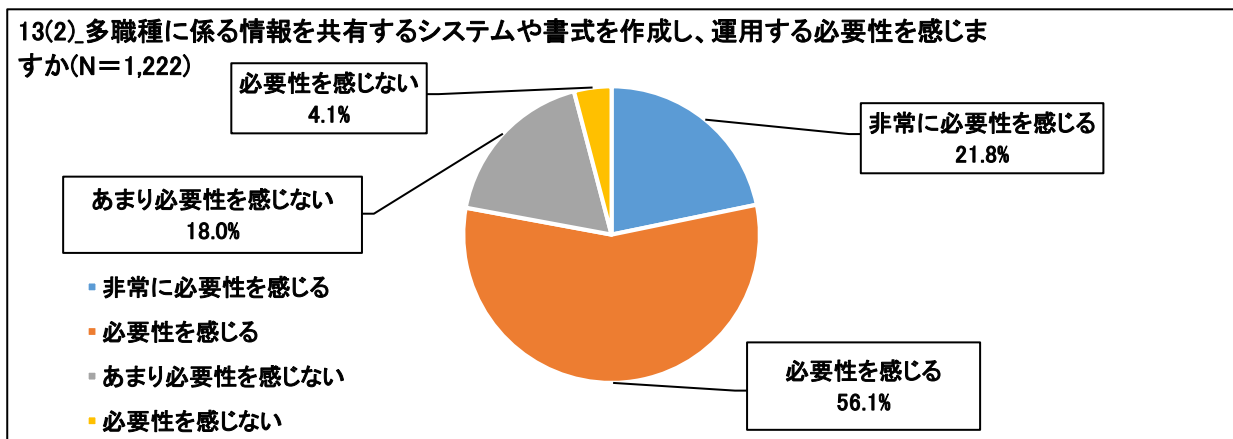
共通利用している事業所

- ・みなとメディカルセンター・昭和会病院・十善会病院・南長崎クリニック・田上病院・長崎病院・愛宕病院
- ・市内総合病院・訪問看護事業所

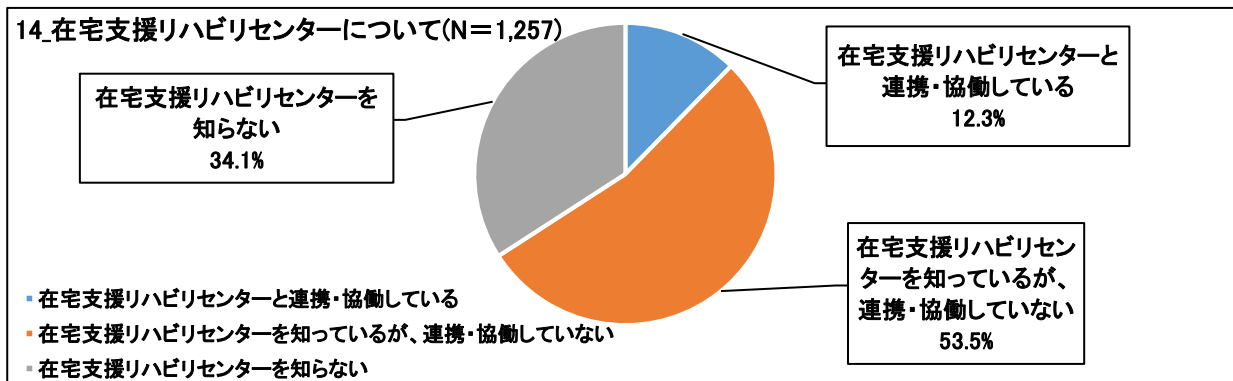
13-(1) 貴事業所は、多職種連携に使用しているシステム・ツールがありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)



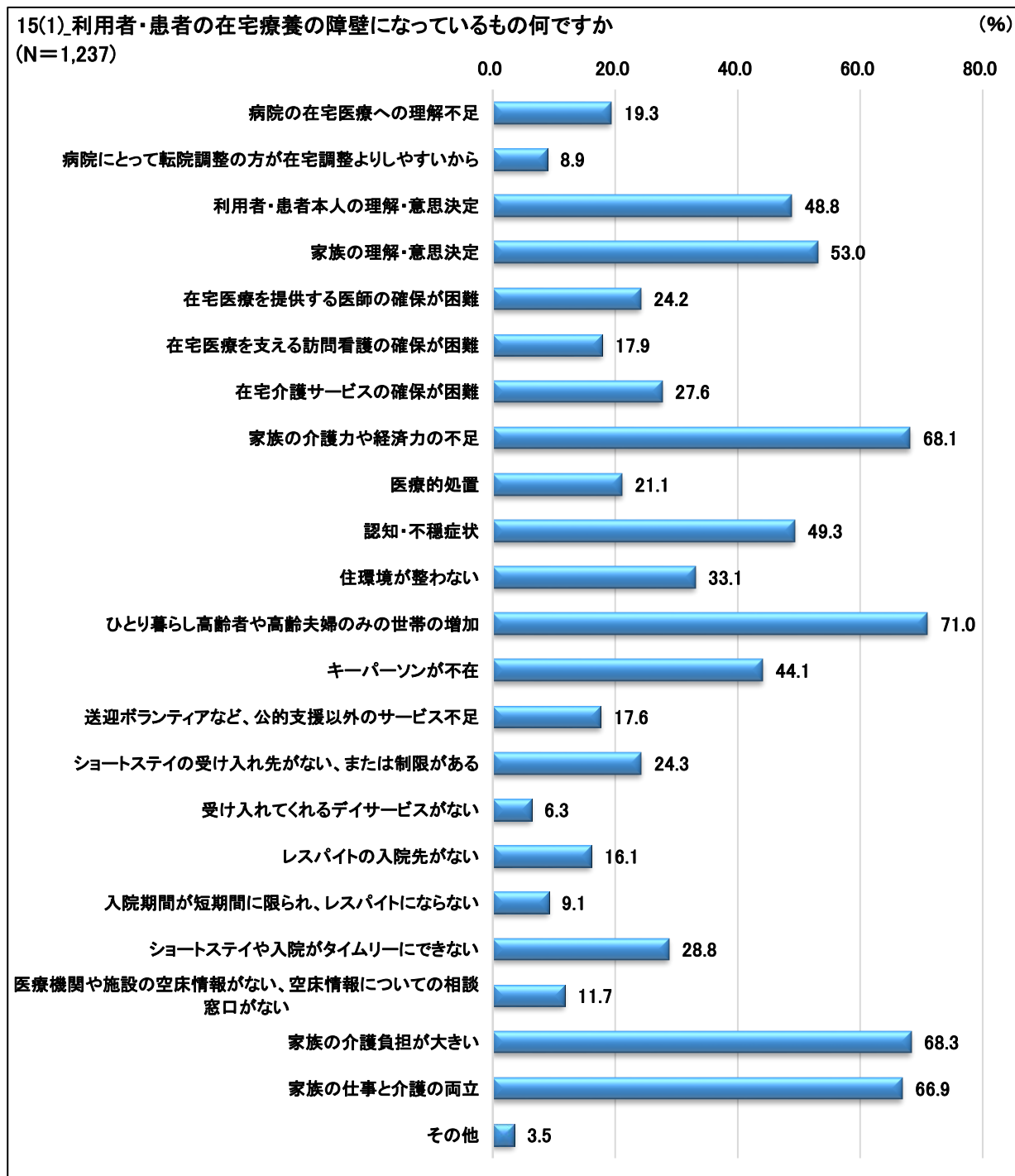
13-(2) 多職種連携に係る情報を共有するシステムや書式を作成し、運用する必要性を感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



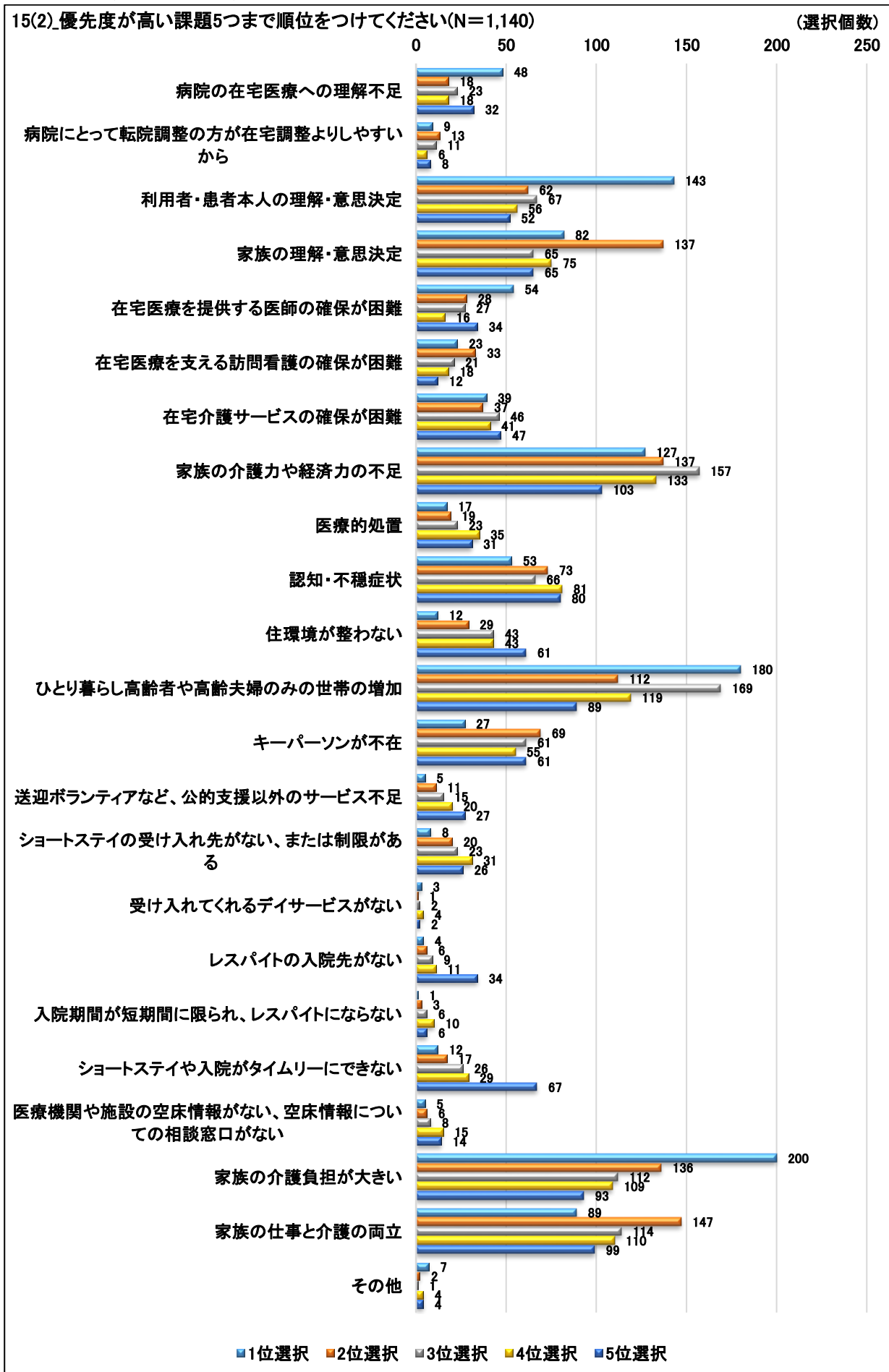
14 長崎市では、高齢者の自立支援・重度化防止に向けた介護予防の推進のため、在宅支援リハビリセンターを市内8か所に設置しています。これについてあてはまるもの1つに○をつけてください。(1つ選択)



15- (1) 利用者・患者の在宅療養の障壁になっているものは何だと思えますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数選択)



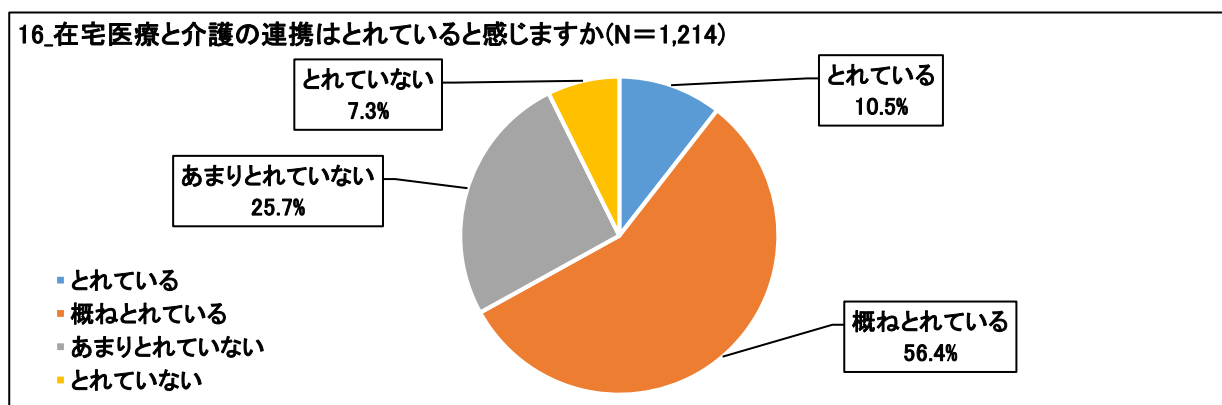
15-(2) また、その中でも優先度が高い課題を5つまで順位をつけて回答し、具体的な状況を記入してください。(5位まで選択)



### 優先順位の課題の具体的状況

- ・独居高齢者や高齢者のみ世帯、認知症患者が増え、在宅療養が難しいケースが多い（病院・診療所・包括・居宅・小規模多機能・老健・有料老人ホーム・GH）
- ・サービスを利用して家族の介護負担が大き（病院・診療所・薬局・訪問看護・居宅・訪問介護・小規模多機能・通所介護・短期入所・特養・老健・有料老人ホーム・GH・ケアハウス）
- ・病院、患者、家族共に在宅医療への理解がない（診療所・歯科・薬局・訪問看護）
- ・マンパワー不足がある（薬局・訪問看護・訪問リハ・包括・居宅・短期入所・GH）
- ・ショートステイや緊急時のベッドがタイムリーに確保できない（訪問リハ・包括・特養・老健）
- ・介護側医療側双方の理解が不十分なため本人、家族に納得いく説明ができていない（居宅）

16 日常の療養支援において在宅医療と介護の連携はとれていると感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。（1つ選択）



17 日常の療養支援を行うにあたっての医療と介護の連携における課題とその解決策や提案事項を具体的に記入してください。

課題	解決策
病院スタッフの在宅医療への知識不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院スタッフの研修会等の参加</li> <li>・病院スタッフが地域に出やすい仕組みづくり</li> <li>・訪問診療の同行研修の機会を増やす</li> </ul>
互いの職種への理解及び知識不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、交流会の開催、参加</li> <li>・各病院、施設の当番制による研修・勉強会開催</li> <li>・医療介護連携の必要性のポイントやGW等の学習会</li> </ul>
顔の見える関係の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でもできるリモート会議等の充実</li> <li>・顔を合わせる研修会や意見交換の場の設定</li> <li>・地域の医師を当番制とし地域の多職種会議に参加しやすい体制づくり</li> </ul>
マンパワー不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療を担う若い医師の育成</li> <li>・介護職の賃金向上</li> </ul>
本人・家族の在宅医療への理解不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発活動</li> </ul>
介護職の医療知識不足 医療職の介護知識不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の実施</li> <li>・ケア方法を統一するため実践的研修や見学の開催</li> <li>・ケア、判断困難時に相談しやすい関係づくり</li> </ul>